



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月13日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL <https://www.cellseed.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部門長 (氏名) 中岡 圭一郎 TEL 03-6380-7490
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の業績 (2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	26	△21.7	△392	—	△392	—	△393	—
2024年12月期第1四半期	34	11.5	△232	—	△231	—	△229	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	△11.36	—
2024年12月期第1四半期	△7.24	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2025年12月期第1四半期	2,233		1,768		78.7
2024年12月期	2,433		2,163		88.5

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 1,757百万円 2024年12月期 2,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—				
2025年12月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	60	△21.1	△460	—	△460	—	△510	—	△14.71
通期	195	1.0	△1,010	—	△1,010	—	△1,060	—	△30.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	34,666,419株	2024年12月期	34,666,419株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	156株	2024年12月期	156株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	34,666,263株	2024年12月期 1 Q	31,736,746株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米国新政権の政策による不確実性の影響が大きいものの、物価上昇が続く中、実質賃金の回復などによる個人消費の持ち直しや企業によるデジタル化、サプライチェーン強靱化などの取組みや人手不足対応による設備投資の拡大など、内需を中心に穏やかな景気回復基調で推移しております。

当社はこのような環境の下、コスト削減による財務体質の改善と安定的な財務基盤の確立を図りつつ、再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間における売上高は26,815千円（前年同四半期比7,423千円の減少）、営業損失は392,599千円（前年同四半期比160,005千円の増加）、経常損失は392,677千円（前年同四半期比161,193千円の増加）、四半期純損失は393,738千円（前年同四半期比164,072千円の増加）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業（細胞培養器材、製造受託）

細胞培養器材事業では、器材製品の拡販に向けた既存代理店との更なる協業強化、2025年3月に第24回再生医療学会総会、日本薬学会第145年会への付設展示会に当社ブースを出展するなど、情報収集及び器材製品の積極的な販売促進活動に取り組みました。

当社細胞培養センターを活かした再生医療を支援する再生医療受託事業については、複数の医療機関や企業との間において、製造受託を含む案件獲得に向けた交渉を継続しております。

以上のような活動の結果、売上高は25,591千円（前年同四半期比8,259千円の減少）、営業損失は26,536千円（前年同四半期比13,371千円の増加）となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、同種軟骨細胞シートの再生医療等製品の自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

同種軟骨細胞シートは、2023年9月20日に、同種軟骨細胞シート（CLS2901C）の第3相試験の治験届をPMDAに提出し、PMDAによる治験届の30日調査が終了しました。治験審査委員会（IRB）を経て、各治験実施施設との契約を締結しました。その後、治験の進展に応じたマイルストンの支払金額について、東海大学と交渉を行っていましたが、2025年3月に合意したことにより、現在、第3相試験の治験開始に向けて準備を進めております。

事業提携活動につきましては、事業化の加速、また将来の同種軟骨細胞シートの販売に向けて、引き続き複数の会社との事業提携及び共同研究契約の締結に向けた活動を積極的に行っております。

以上のような活動の結果、売上高は1,224千円（前年同四半期比836千円の増加）、営業損失は305,460千円（前年同四半期比141,256千円の増加）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べて212,672千円減少し、2,099,546千円となりました。これは、現金及び預金が212,270千円減少したことなどによります。

当第1四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べて13,022千円増加し、133,887千円となりました。これは、投資その他の資産が13,022千円増加したことによります。

この結果、当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて199,650千円減少し、2,233,434千円となりました。

（負債）

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べて204,435千円増加し、307,580千円となりました。これは、未払金が218,103千円増加したことなどによります。

当第1四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べて9,145千円減少し、157,590千円となりました。これは、長期借入金が9,168千円減少したことなどによります。

この結果、当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて195,290千円増加し、465,170千円となりました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて394,940千円減少し、1,768,263千円となりました。これは、四半期純損失を393,738千円計上したことなどによります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2025年2月13日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,134,299	1,922,029
売掛金	37,126	13,292
商品及び製品	12,476	16,266
仕掛品	9,448	160
原材料及び貯蔵品	24,065	25,346
その他	94,802	122,450
流動資産合計	2,312,219	2,099,546
固定資産		
投資その他の資産	120,865	133,887
固定資産合計	120,865	133,887
資産合計	2,433,084	2,233,434
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,183	320
未払金	43,687	261,791
1年内返済予定の長期借入金	10,834	17,502
賞与引当金	4,228	15,190
その他	38,212	12,775
流動負債合計	103,144	307,580
固定負債		
長期借入金	132,916	123,748
資産除去債務	33,819	33,842
固定負債合計	166,735	157,590
負債合計	269,880	465,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,819,386	2,819,386
資本剰余金	1,798,967	1,798,967
利益剰余金	△2,466,054	△2,859,792
自己株式	△227	△227
株主資本合計	2,152,071	1,758,333
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	747	△454
評価・換算差額等合計	747	△454
新株予約権	10,384	10,384
純資産合計	2,163,204	1,768,263
負債純資産合計	2,433,084	2,233,434

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	34,238	26,815
売上原価	16,312	17,670
売上総利益	17,925	9,144
販売費及び一般管理費		
研究開発費	156,388	305,740
その他	94,129	96,003
販売費及び一般管理費合計	250,518	401,744
営業損失(△)	△232,593	△392,599
営業外収益		
受取利息	10	1,095
為替差益	2,118	—
受取手数料	18	—
その他	2	—
営業外収益合計	2,149	1,095
営業外費用		
支払利息	515	484
新株発行費	524	—
為替差損	—	689
営業外費用合計	1,040	1,173
経常損失(△)	△231,484	△392,677
特別利益		
新株予約権戻入益	2,055	—
特別利益合計	2,055	—
特別損失		
減損損失	—	488
特別損失合計	—	488
税引前四半期純損失(△)	△229,428	△393,165
法人税、住民税及び事業税	237	572
法人税等合計	237	572
四半期純損失(△)	△229,665	△393,738

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,851	387	34,238	—	34,238
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	33,851	387	34,238	—	34,238
セグメント損失(△)	△13,165	△164,204	△177,370	△55,223	△232,593

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△55,223千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,591	1,224	26,815	—	26,815
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,591	1,224	26,815	—	26,815
セグメント損失(△)	△26,536	△305,460	△331,997	△60,602	△392,599

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△60,602千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期累計期間においては、488千円であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前事業年度末の手元資金（現金及び預金）残高は2,134,299千円となり、財務基盤については安定的に推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社は当第1四半期会計期間末において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社は当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と事業提携の推進による収益機会の獲得

当社は、今後、同種軟骨細胞シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また事業提携先の開拓を通じて、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。